

保存版

令和4年7月 発行



葛飾区

水害ハザードマップ

解説編

このまま地球温暖化が進むと、
台風が大型化し、
勢力がさらに強くなる
可能性があります。

大型の台風の影響により、
荒川・江戸川の洪水や東京湾の高潮など

葛飾区でも大規模な水害が
起きる可能性があります。

大規模水害から、
自分の命を守る！

ハザードマップの内容は、分かりやすく映像にまとめて、
公開もしています！葛飾区公式YouTubeチャンネルから
ご確認できますので、是非、ご覧ください。



目次

第1章 葛飾区の地域特性について 葛飾区の地勢、治水事業	P2~3
第2章 災害時の避難行動の原則について 避難行動フロー図、避難のときの心得、分散避難とは、日頃からの心得	P4~7
第3章 水害からの避難のための情報収集について 河川・気象情報と収集方法、区民のみなさんがとるべき行動、避難情報の入手方法	P8~11
第4章 自宅にとどまる場合のリスクと対策 大規模水害時、自宅にとどまった場合	P12
第5章 地域別の浸水リスクや避難行動について 地域別の浸水リスク	P13~20
第6章 内水氾濫・外水氾濫(洪水)が起きた場合の浸水状況 内水氾濫、河川別浸水想定区域図	P21~31
第7章 複数河川・高潮の氾濫からの広域避難について 江東5区大規模水害ハザードマップ、大規模水害が発生したら	P32~35
第8章 身近な水害対策を進めましょう 自治町会に加入しましょう、風水害に備えよう	P36~37
第9章 いつ・どのような避難行動を取るのか考えましょう！ マイ・タイムライン、非常時持出品チェックリスト	P38~39

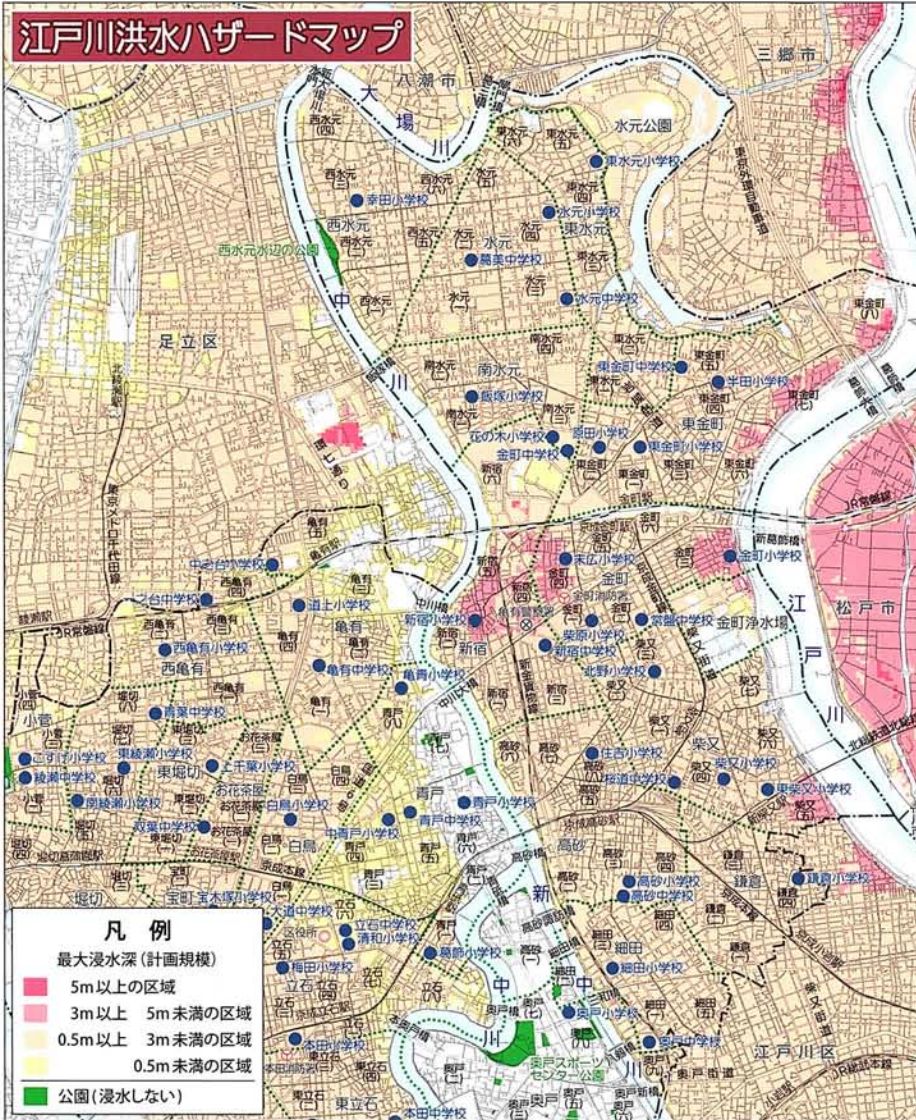
葛飾区水害避難ガイド

江戸川の氾濫や高潮に備えよう

東部

東部
地域

江戸川洪水ハザードマップ



江戸川の氾濫や高潮が発生すると、広い範囲で1階まで浸水して、一部の地域で2階まで浸水してしまうおそれがあります。

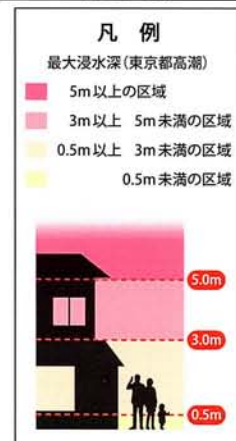
浸水する階層に居住している方は、自宅から避難をする必要があります。

浸水しない階層に居住していて、自宅に留まる場合でも、ライフラインの途絶等に備えて、十分な備蓄をしておく必要があります。

荒川や中川が氾濫しても、東部地域が浸水するリスクは低くなっています。

葛飾区が避難情報が発令しても、東部地域が対象区域に含まれていない場合には、落ち着いて自宅に待機してください。

高潮浸水想定区域図 (浸水深)



※図は東京都内の想定を示したものです

